

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 30 日

事業名称		就学相談事業費〔就学相談事業〕									
予算科目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	教育指導費	事業番号	1
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	教育指導 課 特別支援教育 係					課長名	佐藤 洋士				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 1		
【施策名】 学校教育の充実								総合計画書(ページ)	31		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ・教育上、特別な支援を必要とする児童・生徒 ・次年度新小学1年生となる未就学児童					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) ①市立小中学校の全児童生徒数(各年5月1日現在) ②未就学児童数(各年4月1日現在の4歳児人口数)					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 本児にあった教育環境(就学)を支援する。学校や教員が必要な指導や支援を行える。					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 巡回相談の実施率					
	③ そのために何をしましたか。 心理相談員4名(臨床心理士3名、特別支援教育士1名)が幼保・各小・中学校を訪問し、支援を必要とする児童生徒の行動観察や必要に応じて心理検査を行う過程で、学校(校内委員会)や保護者に指導・助言・相談を行う。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 巡回相談延べ件数					
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	人	①6,612 ②783	①6,562 ②732	①6,556 ②712					
	成果指標	②の数値	%	100	100	100					
	目標	②の目標値	目標値設定の考え方 就学先については本人及び保護者の意向を尊重し決定するため、目標値の設定はしないこととする。								
活動指標	③の数値	件	560	774	776						
3 経費	事業費(実績)		円	12,983,981	14,698,824	15,221,984		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	12,983,981	13,899,824	14,696,984					
		特定財源	円	0	799,000	525,000					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	825,300	824,400	831,000					
職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	13,809,281	15,523,224	16,052,984						
4 環境変化等	(1) 開始年度	不明 年度									
	(2) 環境の変化	特別支援教育の推進に伴い、学校及び保護者の理解が進んだことで、教育上の特別な支援を必要とする児童、生徒の相談が増加し、巡回相談から就学相談に発展するケースも増え、巡回相談の役割・重要性が増えている。									

